

治療戦略検討委員会

▶ 2018.1 月

1. 富山総会において2015年から継続しているせん妄のWS「若手医師・多職種のためのせん妄予防と治療2017」を開催した。31名の参加を得、実施後アンケートの評価は平均4.5（5段階）であった。2018年も継続予定である。
2. DELIRIA-Jのsuvorexantのせん妄予防に関するRCTの成果はJ Clin Psychiatryに掲載された（2017 Sep/Oct;78(8):e970-e979.）。2017年10月から、せん妄予防の大規模な多施設共同観察研究を実施中である（日本医大武蔵小杉病院，東京医科歯科大病院，順天堂大学練馬病院，都立駒込病院，倉敷中央病院，広島市民病院，福山市民病院，徳島県立中央病院，久留米大病院）。
3. 各種身体疾患領域への精神科医の貢献に関する体系的方略について、周産期メンタルヘルス学会とは竹内委員を橋渡し役として2016年に続き2017年も総会で共同シンポジウムを開催できた。腎臓病領域は臓器移植関連委員会に移り、サイコネフロロジー研究会と共同シンポジウムを開催する形で発展している。循環器疾患、糖尿病といった領域との協働も検討を継続している。

順天堂大学医学部附属練馬病院 八田 耕太郎

▶ 2017.11 月

1. 2015年から行っているせん妄のワークショップを今回の総会でも「若手医師・多職種のためのせん妄予防と治療2017」として開催する。
2. DELIRIA-Jのsuvorexantのせん妄予防に関するRCTの成果はJ Clin Psychiatryに掲載（2017 Sep/Oct;78(8):e970-e979.）。2017年10月から、せん妄予防の大規模な多施設共同観察研究「せん妄リスクに配慮した睡眠薬使用下でのせん妄出現に関する研究」を開始した（日本医大武蔵小杉病院，東京医科歯科大病院，順天堂大学練馬病院，都立駒込病院，倉敷中央病院，広島市民病院，福山市民病院，徳島県立中央病院，久留米大病院）。

Ramelteon および suvorexant のせん妄予防 RCT の成果を踏まえたせん妄診療のパラダイムシフトを目指し、それらの現場での有用性の検討を目的にしている。

3. 各種身体疾患領域への精神科医の貢献に関する体系的方略について、当該領域の学会との協働を展開中である。周産期領域では、周産期メンタルヘルス学会との共同シンポジウムを2016年に引き続き2017年総会でも行う。心臓病・脳卒中領域では循環器心身医学会との協働を、糖尿病領域では糖尿病合併症学会との共同シンポジウムを当学会総会でできるか検討中である。

順天堂大学医学部附属練馬病院 八田 耕太郎

▶ 2016.12 月

1. 2015年に引き続き、2016年総会でもせん妄のワークショップ「若手医師・多職種のためのせん妄予防と治療2016」を開催した。37名が参加し、実施後アンケートでは5段階評価で平均4.6であった。2017年総会でも少人数事前登録制のせん妄ワークショップを開催する方針である。

2. DELIRIA-Jのせん妄予防に関するRCTは終了して投稿中。2017年はせん妄予防に関する大規模な多施設共同前向き研究の実施を予定している。

3. 各種身体疾患領域への精神科医の貢献に関する体系的方略について、当該領域の学会との協働を展開中である。心臓病・脳卒中領域では、循環器心身医学会を2018年総会と共同開催できるか検討予定となっている。糖尿病領域では、糖尿病合併症学会との共同シンポジウムを当学会総会でできるか検討予定である。腎臓病領域では、サイコネフロロジー研究会との共同シンポジウムを2017年総会でできるか検討予定である。周産期領域では、周産期メンタルヘルス学会との共同シンポジウムを2016年総会で行い、今後も継続方針である。精神神経学会での周産期領域のシンポジウムも共同推薦の形を取る。

4. 2016年11月からの新体制は、八田耕太郎（順天堂練馬、委員長）、岸泰宏（日医武蔵小杉、副委員長）、小田原俊成（横浜市大）、木村真人（日医北総）、竹内崇（医科歯科大）、中村満（成増厚生）、西村勝治（女子医大）、野田隆政（国立精神・神経医療研究センター病院）、和田健（広島市民）の委員で構成する。

順天堂大学医学部附属練馬病院 八田 耕太郎

▶ 2016.4 月

1. GHP が貢献すべき身体疾患領域（先行した癌以外）について、相互理解の促進による精神科医の必要性の啓発と精神科医の技術の向上を目的とした企画を展開中である。そのための具体策として、

1) 各々の領域の学会との協力関係を構築して、先方の学会でシンポジウムをもち、当該科に問題意識をもってもらうこと

2) 当該科の問題意識に対処できる能力を精神科医が修得する目的で、GHP 総会の際などに講習会を開くこと

を次年度以降に実現できるよう、脳卒中、心臓病、糖尿病、腎臓病、周産期といった領域別に検討を進めている。

周産期、心臓病、腎臓病については協働の具体化が進んでいる。

2. 木村真人先生（日本医大北総病院）が新委員として理事会で承認された。

順天堂大学医学部附属練馬病院 八田 耕太郎

▶ 2016.1 月

GHP が貢献すべき身体疾患領域（先行した癌以外）について、相互理解の促進による精神科医の必要性の啓発と精神科医の技術の向上を目的とした企画を展開中である。そのための具体策として、

1) 各々の領域の学会との協力関係を構築して、先方の学会でシンポジウムをもち、当該科に問題意識をもってもらうこと

2) 当該科の問題意識に対処できる能力を精神科医が修得する目的で、GHP 総会の際などに講習会を開くこと

を次年度以降に実現できるよう、脳卒中、心臓病、糖尿病、腎臓病、周産期といった領域別に検討を進めている。

周産期については黒木理事長、竹内委員、八田により周産期メンタルヘルス学会と、心臓病および腎臓病については西村委員により循環器心身医学会およびサイコネフロロジー研究会との協働が確認されている。引き続き各領域との協働の具体化を進めていく。

順天堂大学医学部附属練馬病院 八田 耕太郎